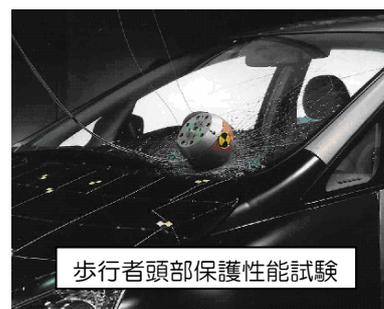


■ 自動車アセスメント・チャイルドシートアセスメントの概要

1. 自動車アセスメント

- ・衝突安全性能試験
前面衝突、側面衝突それぞれの試験結果をもとに総合的な安全性能を6段階評価
- ・ブレーキ性能試験
乾燥した路面と濡れた路面のそれぞれにおいて、時速 100km から素早く停車させ、停止距離と停止姿勢について評価
- ・歩行者頭部保護性能試験
車両と歩行者が衝突したときに、歩行者の頭部を保護する性能を5段階評価



2. チャイルドシートアセスメント

- ・前面衝突試験
前面衝突時のチャイルドシートによる乳児又は幼児を保護する性能を4段階評価
- ・使用性評価試験
本体表示や取扱い説明書の解りやすさ、座席への装着性等について1～5点で評価

■ 自動適性診断機器の概要

- ・運転する方の性格、安全運転態度、認知処理機能等を電算処理システムにより診断することで、運転上の特性を見だし、安全運転につながるアドバイスをします。
- ・診断に必要なことがらは、全て機器の画面の文字と音声で案内するので、全く初めて診断を受ける場合であっても、一人で受診が可能。
- ・診断が終わると、自動的に診断結果を印刷。
- ・診断結果に基づいて、機器画面上の文字と音声で安全運転についてアドバイスをします。
- ・平均所要時間は、約60分。

